

安全データシート (SDS)

使い捨てラテックス手袋

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 : Latex disposable glove [powdered, powder-free and polymer powder-free] (使い捨て天然
ゴム手袋 (パウダー付き、パウダーフリー及びポリマーパウダーフリー))

化学族 : 天然ゴムラテックス

製品品番 : TGNL～、TGPL～

輸入元 : トラスコ中山株式会社

所在地 : 〒105-0004 東京都港区新橋四丁目 28-1

電話番号 : 0120-509-849

Fax 番号 : 0120-509-839

2. 危険有害性情報

緊急事態の概要

使い捨て天然ゴム手袋には危険有害性はない。

危険有害性 : 危険有害性なし

物理的状态 : 固体、フィルム状

色 : 透明、有色

健康への潜在的影響

曝露経路 : 皮膚接触

徴候及び症状 : 使い捨て天然ゴム手袋の合理的使用による健康への有害影響は、何も予測
されていない。

目接触 : 危険有害性なし

吸入 : 危険有害性なし

皮膚接触 : 一次皮膚刺激物質ではない。皮膚感作物質ではない。

飲み込み : 本製品の試験は未実施

3. 組成、成分情報

パウダー付き : 天然ゴムラテックス、コーンスターチ、炭酸カルシウム、ZDBC、ZDEC、

酸化亜鉛、Wingstay L、硫黄及び二酸化チタン

パウダーフリー：天然ゴムラテックス、Cyclaron-1、ZDBC、ZDEC、酸化亜鉛、ワックス、
高分子ヒンダードフェノール、硫黄及び二酸化チタン

パウダーフリーポリマー：天然ゴムラテックス、Cyclaron-1、ポリマー、ZDBC、ZDEC、酸化亜鉛、高分子ヒンダードフェノール、硫黄及び二酸化チタン

4. 応急措置

災害発生時に講じるべき措置：

目：該当なし

吸入：該当なし

皮膚：石けんと水で洗うこと

飲み込み：相当量を飲み込んだ場合、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

燃焼性区分：未区分。本手袋は燃えるが、容易には着火しない。

消火剤：水噴霧、二酸化炭素、泡又は粉末消火薬剤

消火時の予防措置：自給式呼吸器と消防用完全防火服を着用する。

6. 漏出時の措置

漏出時の対応：リサイクル又は廃棄のために保持しておく。

7. 取扱い及び保管上の注意

使い捨て天然ゴム手袋は、10～30℃ の乾燥状態で保管する場合、その特性を維持するものとする。日光などの紫外光源と酸化剤から手袋を保護する。

8. 曝露防止及び保護措置

設備対策

使い捨て天然ゴム手袋を加熱する閉鎖空間では局所排気装置を使用する。

個人用保護具

目：保護具は不要。使い捨て天然ゴム手袋を加熱する場合は、安全ゴーグルを使用する。

吸入：保護具は不要

皮膚：保護具は不要。使い捨てラテックス手袋を溶融状態まで加熱する場合は、耐熱性保護手袋を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観：左右兼用

表面にざらつきあり

透明又は有色

物理的状態：固体

臭い：無臭

pH：7.35

10. 安定性及び反応性

化学的安定性： 使い捨て天然ゴム手袋は化学的に安定である。

避けるべき条件：過度の高温、火花又は裸火との接触は避ける。塵埃の堆積は避ける。

危険有害な分解生成物：使い捨て天然ゴム手袋が燃えると、各種の有毒ガスが発生することがあり、さらに、呼吸器への刺激を引き起こす恐れがある。

本手袋の有効期間は、上記の保管条件に従う場合、製造日から5年間とする。

11. 有害性情報

急性作用：無毒性

亜慢性及び慢性作用：無毒性

12. 環境影響情報

生物分解による生成物：非生物分解性

生態毒性：使い捨て天然ゴム 手袋は不活性と考えられる。

13. 廃棄上の注意

本文書では、製造元によって製造される使い捨てラテックス手袋の推奨廃棄方法について

規定する。

焼却：以下の要件に従い、適切な量の手袋を焼却炉又は火炉に入れて廃棄する。

要件：

- 1) 燃焼温度は 850°C 以上。
- 2) 燃焼保持時間は 2 秒以上。

注記：手袋は、低温での開放燃焼、又は、通常の埋立て処分により廃棄してはならない。

その他の廃棄上の注意：地元自治体に照会してから廃棄する。本文書の情報は出荷する製品向けである。他の材料との混合などを行った製品の使用及び、又は製品変更により、材料特性が大幅に変化し、適切な廃棄方法が変更される可能性がある。

14. 輸送上の注意

商品に危険性なし

15. 適用法令

該当なし

16. その他の情報

本製品安全データシートを提供する唯一の目的は、使用者の参考になることである。トラスコ中山株式会社は、使用者のプロセスでの本製品、又は、他の物質と組み合わせた本製品の賢明な使用に関して、明示的か暗示的に関わらず、一切保証しない。また、本文書に記載したデータの正確性又は完全性に対して、一切の責任を負わない。使用者は、本製品の熟考された使用及び使用方法に対する妥当性を判定する責任を負っている。

OSHA3514 に基づく化学品の調査

以上